

白い森小国から

謹賀新年！
明けましておめでとうございます。k-productsは今年も業務、レース活動共に一層精進して参ります。新しい年が皆様にとって良い年でありますようお願い申し上げます。

文／今修
写真／K-PRODUCTS

一年は本当に早い！

この「白い森小国から」が連載を始めて今回で10回目、そしてk-productsも今年で13年目を迎えた。ボヤボヤしていると“あっ”言う間に色々な事が過ぎて行ってしまう。2013年も仕事に遊びに意欲的に動きまわりたいと思っている。まだまだやりたい事は沢山残っているから！

振り返れば2012年は本当に忘れられない年になった。年明けの1月1日から「今年は自己管理を徹底し痩せなければ！」と決め、目標であった60kg台までのダイエットに成功。何だかんだと8ヶ月ぐらいかかったけど、17kgも減量できたのだ。

減量して気が付いたけど本当に体が調子良く、耐久レースなんかでも前に比べると楽に走れる感じ。特に激しいウォッシュボードにつかまった時、以前は心臓が飛び出るかアバラ骨が折れるかぐらいの衝撃だったけど、痩せてからはそれほど辛くなくなった。

あとビックリしたのが足のサイズが変わったことだ。流石に何cmも変わるわけないけど、むくみが取れたと言うか、全体的にスマートになった感じで今まで履いていた靴がゆるくなった。と、こんな感じで、体は調

子良くなったけど、今まで着ていた服がブカブカになって全て買い換え…大きい出費だった。ちなみに現在も週2～3回はスポーツジムに通って筋トレしている。今年は腹筋を6パックにしたいと思っている。なんでかって？ オレにもわからねえ(笑)。

もうひとつの大きな思い出は、念願のオフロードコース「AREA-D」が昨年の8月にプレオープンしたことだ。場所は地元の山形県小国町、面積は9,000坪とまだまだ小さいけど遊ぶには十分。昨年はできたばかりで地盤がまだ固まっていなかったけど、一冬寝かせてこの春からが楽しくなると思う。自分達も昨年はコース整備が忙しく、思う存分走れなかったけど今年は走れそう。今年はさらにコースが増える予定で、また大会も予定している。楽しみにお待ちいただきたい。ちなみに2013年度の「AREA-D」オープンは4月下旬を予定している。

レース熱は高まるばかり！

レースに関してだが、昨年参戦できたのは4戦だけ…。予定していたのは7戦だったけど2戦は中止となり、1戦はヤボ用が入りキャンセルしたからだ。大会成績は4戦中3戦

の表彰台に上がった。2011年は全レース完走すらできなかったから、それから比べれば2012年は最高のレース結果だと思う。

一番思い出に残ったレースは静岡県磐田市で行われた、ジムニーカーニバルの耐久レースだ。コースはフラットダートで逆バンクコーナーが多く、気を抜くとインリフトしてしまう。実はこの大会の数ヶ月前に行われたNASCの耐久レースで4年振りの1回転を体験した。外装はグチャグチャになったが、エンジンと足回りはそれほど大きいダメージではなかったのでレース続行。しかし、気持ちはチョット折れた。なんせ4年振りの出来事だったから…。

そして折れた気持ちがまだ修復できていない状態でジムニーカーニバルの耐久レース。しかし不安定な気持ちが功を奏したのか、いつもよりも丁寧に走れ、なんとか改造クラス2位に入賞したのだ。と言っても、残り15分でレースに潜む悪魔が登場し、ぶっちぎりでトップを走っていた車両が転倒して、3番手を走っていた俺はそのままゴールしての2位だから、実際は3位だと思っている。なんせあの状況でオレは間違いなく前の2台を抜くことはできなかった。そう思わせるほどトップの2台は本当に速かった！



新規制対応マフラー「エクセル2」。
A/T、M/Tどちらも車検対応！ 完璧な仕上りの自信作です。
¥47,250 (税込)



排気効率を落とさずに音量だけを下げ、しかもトルクをアップ！ ¥29,400 (税込)

新製品に関して

いつもレースが終わると「この部分をこう変えて、ああ変えて…」という話がオレとメカニックの間で行われる。これが自社商品の改良とか開発に繋がっていくのだ。昨年の10月にリリースしたスパーネ2インチリーフも実は2011年からテストしていて、昨年の全レースでテストがてら使用していた。

ダートレースでハイスピード走行すると2.5インチのスパーネではどうしても車高が高過ぎてしまう。さらにリア上がりに作っているの、コーナーリング手前の加重移動がちょっと微妙なのだ。2.5インチリーフ自体が悪いワケではないので、新たに2インチを追加したのである。その2インチスパーネは1G状態で車体はほぼフラットを保ち、乗り手のチョットした操作により敏感に反応してくれるようになった。でもバネレートを下げて柔らかくしたワケではないので高速走行でもしっかりとスピードに対応してくれる。

リーフ本体の重量にも考慮し、フロント3枚、リア4枚の構成は2.5インチリーフと同じだ。そして素材から製造まで全て日本！ Made in Japanだ。日本製にこだわらなくていいモノもあれば、日本製でなければダメなモノもある。

レースで使っていたリーフは完全な市販モデルではないが、実際は市販されたリーフの方がさらに乗りやすく、また操作しやすく仕上がっている。興味のある人は試していただきたい。なお、リーフの製作もこの2インチスパーネでしばらくはお休み。何故かと言うと10年以上もお付き合いしてくれた青い戦闘機JA11でのレース参戦も昨年まで。今年からはJB23でレースに参戦して行く予定だから。今後はJB23のパーツ改良が

多くなっていくだろう。

ここで昨年発売したJB23用パーツをピックアップしてみよう。FRPフロントバンパーとFRPリアバンパー、FRPスキッドガード、カーボン製スキッドガード、新規制対応マフラー・エクセル2、そしてサイレンサー入りフロントパイプだ。

FRPバンパー系はレースをやっていない弊社のスタッフが考えた商品。とは言え、もちろん愛車はジムニーだ。競技はやっていないがジムニーが好きという、最も多いであろうユーザー層のひとりである。

そんな彼がバンパーを作るにあたり一番重視したのは、完全車検対応ということ。一般ユーザーの間では意外と知られてないことだが、フロントバンパーにフォグランプが付いているモデルは要注意。平成18年1月以降生産の車両は車体側面から40cm以内の場所にフォグランプが付いていないと車検に合格しないのだ(フォグランプが付いていなければ関係なし)。

リアバンパーに関してはあえてナンバーをバンパーセンターに取り付けナンバー灯も純正の物を使用できるようになっている。ナンバーの位置も純正に比べるとかなり高い位置になっているので少々オフロード走行ではぶつからない。お決まりのバックドアにナンバー移動もいらないので移動キットなどもない。すなわちお金もかからないのだ。

スキッドガードにしても完全にボン付け。普通はドリルで穴を開けるとかの作業が必要なのだが、穴あけなしで取り付けできるのがポイントである。オレが考えると物凄く片寄ったデザインになると思うけど、一般ユーザーに近い使い方をしているスタッフが考えるとスタイルはもちろんのこと、車検対応で取り付けが面倒ではない、この点が一番

重要になるのだろう。

新規制対応マフラー「エクセル2」だが、22年4月以降に生産された車のマフラーを交換する場合、新規制対応マフラーでないと車検が通らない。厄介な規制が出来たものだ…。一体何が目的なんだ？ 色々と言話はあるようだがその内容はさておき、そんな裏話を耳にしたものだから、今まで見て見ぬふりをしていた。しかしいつまでもほったらかしにしておく訳に行かず2011年の秋からテスト開始。当初は2012年の4月から販売予定だったが、そんなに上手く事は運ばず、結局9月からの販売となった。

新規制対応といってもM/T車のみ対応とかA/T車のみ対応とかあるので購入時には要注意！ ウチのエクセル2はM/T車A/T車両方とも新規制対応だから車検OKだ！ このマフラーの最初の試作品は、物凄くトルク重視に仕上がった。マフラーを作る場合、トルク重視だけで仕上げるのは簡単だが、トルクもあり高回転も回るように作るとなると難しい。

エクセル2の場合はトルクと音量が左右されるサイレンサー部分を、イチから改良する事を始めた。そして試作品に乗って驚いた。めっちゃ静かで低速から高速まで一切ストレスなく吹け上がったのだ。オレが思っていた以上の出来栄で、正直驚いた。

そしてそのサイレンサーを使ったフロントパイプも昨年12月から販売している。フロントパイプに関しては、取り付けだけで約10dbもの音量ダウンを実現。高回転の伸びも妨げることはない。

とにかく、今年はJB23でレース参戦するから色々楽しめそう。2013年もこんな感じでジムニーひと筋で頑張っていくからよろしくです！



大きなインテークを設ける事により多くの空気を取り入れます。デザインだけでなく、機能性も考慮。
¥28,350 (税込)



今までのFRPバンパーと違い、バックランプを運転席側に1つ設置。ナンバー灯も純正再利用可能です。
¥25,200 (税込)